

報道関係者各位

令和3年10月25日

山梨県リニア未来創造局

リニア未来創造・推進課 課長 安藤 明範

電話番号 055-223-1664(内線1304)

TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業 A I を用いた路線バス乗客安全監視システムの 実証実験が始まりました！

山梨県が今年度より実施している、最先端技術やサービスを有するスタートアップ企業等に伴走し、山梨県全域を対象にした実証実験を全面的にサポートする「TRY!YAMANASHI!実証実験サポート事業」において、実証フィールドの斡旋・提供、地元調整等のサポートを行うこととした下記のプロジェクトについて、この度、実証実験が始まりましたのでお知らせいたします。

1 事業者

株式会社エジソンエーアイ

<http://edison.ai/>



株式会社フジクラ

<http://www.fujikura.co.jp/>



山梨交通株式会社

<http://yamanashikotsu.co.jp/>



リニアやまなしビジョン



2 実証実験の内容

乗合バスの車内に設置したカメラとA Iを活用して、乗客の状態をリアルタイムで把握し、運転手に注意を促す発車時安全確認システムの実証実験を実施する。

この実証実験により、システムの技術面の検証を行うとともに、バス事業者へのヒアリングを通じた受け入れ可能性を調査する。

将来的には、自動運転バス用社内監視システムとして完成させ、路線バスの運転手不足を解消するとともに、自動運転バスの安全な運行に貢献する。

実際に営業走行する路線バスで、A Iを用いた乗客監視エッジコンピューティング(※)システムの実証実験は日本初。

(※) クラウドなどを介さず、データが発生するその場で情報処理を行うことを意味し、今回の実証実験ではバスの車内に設置した市販の小型汎用デバイスでA Iを駆動させる。

3 実証実験の実施期間

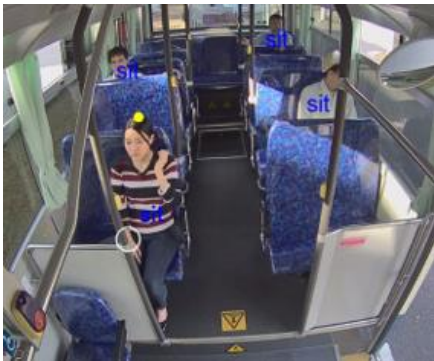
令和3年10月18日（月）～11月中旬（予定）

4 AIバス乗客安全監視システム概要（画像はイメージです。）

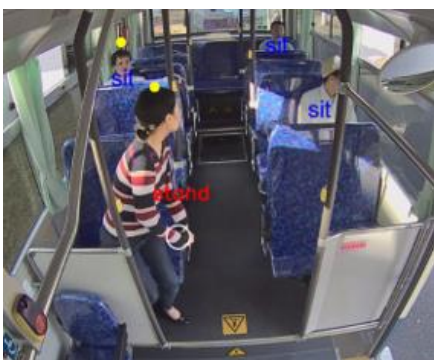
①乗客が着席前であることをAIが検出 ②その結果を運転席付近に表示



③乗客の着席を検出



⑤走行中に立ち上がった客を検出



④その結果を表示



⑥その結果を表示



※報道機関向けデモンストレーションは実施されませんのでご了承ください。

なお、個別での取材は対応されますので、取材いただける場合は、次の連絡先までご連絡ください。

株式会社フジクラ コーポレートコミュニケーション部 wwwadmin@jp.fujikura.com

【報道関係者からのお問い合わせ先】

リニア未来創造局 リニア未来創造・推進課 担当：塩澤

電話：055-223-1363（内線1325） メール：shiozawa-ajyp@pref.yamanashi.lg.jp